



# 済生会富山病院報



初夏の板取溪谷 (岐阜県関市)

臨床検査科 山本富夫

## 目次



病院も変わろうとしています …… 2	放射線技術科 認定資格合格の声 … 10
副院長就任のご挨拶 …… 2	今年4月より看護師ユニホームが変わりました!! …… 11
診療部長に就任して …… 3	私達の職場 …… 11
看護部長就任のご挨拶 …… 3	新人自己紹介 …… 12~14
平成23年度「外来患者さんの待ち時間調査」結果について …… 4~7	無料・定額診療制度 …… 15
「患者さんの声」にお答えします … 8~9	理念・基本方針 …… 16



## 病院も変わろうとしています

院長 三崎 拓郎

平成24年5月5日をもって、一時的にしても日本の全ての原子力発電所が稼働停止になりました。日本全体の今後のエネルギーをどの様な形で確保するのかとの難問を突きつけられて本年度は明けました。このようにエネルギー政策の転換期を迫られ、日本全体が変わろうとしております。

当院は富山市内中心部の安住町(現在のサンシップ富山が建っている土地)から移転して15年になります。ベッド数は250ですが、この間に医療の質を上げるため職員数の増加、最新機器の導入に努めて参りました。移転前は常勤医師数22名、看護職員数129名、それ以外の職種を含めた全職員数232名だったものが、現在はそれぞれ38名、242名、468名と大きく増加しております。さらに定期的に働いてもらっている非常勤医師数は25名にもものぼり、力を合わせて治療に取り組んでおります。このように本院は「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を理念としてその充実を図ってまいりました。

一方、当院の脳卒中センターは県の医療計画における脳卒中拠点病院として、365日24時間フル稼働で県民のニーズに応じております。また、同時に富山医療圏の2次救急輸番をも担っており、冠動脈疾患に対する心臓カテーテ

ル治療、消化器疾患への低侵襲治療、腰椎疾患や人工関節などの整形外科的治療でも優れた成績を出しております。今年度からは、呼吸器疾患の救急も新たに加わりました。

当院のセールスポイントの1つは機動力の高さです。救急室の向かいに放射線技術部門が配置されており、最新の診断機器を用いて迅速かつ正確な診断に導くことが可能です。もう1つのセールスポイントは、レベルの高いチーム医療の実践です。より緊急性の高い脳や心臓の疾患に対しても、プロ意識の高いスタッフが力を合わせて最善の結果を目指して昼夜がんばっております。

現在、手狭になった救急室を中心に大幅に新改築し、最先端の機器も導入する新たな救急センター構想が進行中です。患者さんには勿論のこと、職員、卒後臨床研修医、富山大学医学生教育のためにも救急センターが役立つもらえるものと信じております。

より優れた医療の提供を志すため、これらの取り組みに対する職員の意識の向上をさらに推進し、今後は済生会富山病院が他の公的病院より一歩先んじた病院を目指して歩んでいきますので宜しくお願い致します。



## 副院長就任のご挨拶

副院長 風間 泰蔵

このたび、平成24年4月1日付で、副院長の辞令をいただきました。

私は、平成9年1月、現在の新病院への新築移転と同時に、当院に就職いたしました。平成19年から、診療部長となり、たくさんある病院運営の業務のうち、主に、職員のコミュニケーションの改善、あるいは、やる気を出すにはどうすればいいか、という点に重点をおいて、仕事をしてきました。

当然、本来の自分の天職である、泌尿器科の医師としての業務の傍らではありましたが、私の人生観である、「仲良く、楽しく」を、そのまま仕事にしてきた感じで、自分なりに、かなり楽しんで続けてこれたような気がしています。

しかし、今度は、副院長、さらに、医療安全管理部長という肩書がつくことになりました。済生会富山病院の職員数

は、私が勤務している間に、2倍近くに増え、また、医学の進歩と、病院を取り巻く制度や環境の変化に伴って、行う業務の高度化や複雑化などが、すごいスピードで進んでいます。つまり、当院には、ますます、患者さんの、地域のみなさんの、さらに、当院職員の、生活と安全を守るための、自覚と努力が求められているということです。

そういう重要な部門を司る役目を仰せつかり、身が引き締まる思いで、改めて決意を新たにしております。今後は、微力ではありますが、なるべくたくさんの方の意見を聞いて、これまでも増して、まとまりのある、楽しい、そして、みなさんから信頼される病院をめざして、努力していきたいと考えています。

みなさんのご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



## 診療部長に就任して

診療部長 清水 哲朗

本年4月1日付けで診療部長を拝命しました。

済生会富山病院に赴任してから3年が経過し、これまで外科部長兼感染防止対策部長として、癌を中心とした外科診療と院内感染対策などを担当して参りました。これからは、さらに、診療科および診療技術部門の統括が主たる役目となり、従来より視野を広げ、病院全体に目を向ける必要があると身が引き締まる思いです。

この数年で、わが国の医療を取り巻く環境が大きく変貌し、医療者の視点から患者さん中心の視点に立った質の高い医療が求められ、病院は、ソフト、ハード両面で絶え間ない改善が要求されています。当院は、病床数250床で、大規模病院と同じ設備と人員を要する診療をすべて行うことはできませんが、病院理念である、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を実践するにはちょうどよい規模ではないかと思ひます。これまで、脳卒中ケア病床の設置、7:1看護体制の導入、地域連携室の設置、DPC対

象病院指定、電子カルテの導入、病院機能評価の認定更新など患者サービス、業務改善、健全経営などの各視点からいくつかの改善が試みられてきました。しかし、患者さんや地域住民のみならず、そして私ども職員が満足できる病院となるにはまだ道半ばであり、救急部門の充実、地域連携の推進、大規模災害などの危機管理、安全安心な医療の提供など課題は山積みです。どの課題も診療科や職種を越えた、病院が一丸となった取り組みが必要です。幸い当院は、プロフェッショナルの集団であるとの気概を持ち、若々しい活力がある職員が多いと思ひます。診療部長として、これらのパワーを最大限に引き出せる院内の横の架け橋となるのが最も大事な責務と考えております。そのため具体的にどのような行動を起こすか、正直申しましてまだ不明ですが、院内外の皆様から、ご助言、ご協力をいただければ幸いに存じます。よろしくお願ひいたします。



## 看護部長就任のご挨拶

看護部長 金山 洋子

この度、平成24年1月1日より山崎列子前看護部長の後任として、看護部長に就任しました。私は、昭和53年に済生会富山病院に就職し、多くの人に支えられて今日までまいりました。なかでも患者さんからいただくメッセージは、私の成長の糧となっております。

済生会は、長く皇室や国に支えられ、国民に信頼されてきました。さらに「施薬救療」を使命として昨年は100周年を迎えました。100周年式典での天皇陛下のおことばは、「困難な状況に置かれている人々を支える済生会」でした。

私たち看護部は、済生会の使命をふまえ、当院の基本理念「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」に基づき、医療チームの一員として良質で安全な医療を受けていただけるよう、一步一步質の向上に努めてまいりました。特に、患者さんと直に触れあうことの多い看護師として、「この病院に来てよかった」「(職員の)〇〇さんに出会ってよかった」と思っただけのようなケアを提供できる病院になれるよう心がけております。また、看護職員一人ひとりが、人を活かし、思いや看護をつなぐことができることで、

やりがいのある仕事ができる職場になり、真の質の高いケアの提供につながると考えております。

看護が専門化して、手を挙げて役割を發揮し皆さんに理解してもらうには、もうすこし力が必要です。しかし確実に進歩してきています。各種の認定看護師や、心臓リハビリテーション認定等、分野が細かく分けられ専門を深く追求する事ができるようになっております。今までは、どうしてかな、これでいいかなと悩んでいたことが、今は根拠をもって解決する方法を看護職はいっぱい身につけてきてまいりました。

よりよい看護、医療は、看護師だけでなくあらゆる職種がしっかりとつながり、そして、患者さんや家族のみならずと共につくりあげていくものです。そうやってつくりあげの中で沢山の励ましやアドバイスをいただき、私達看護師は、学びだけでなく、元気までいただいてまいりました。私は、看護部長1年生ですが、精一杯一歩づつ前に進んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 平成23年度「外来患者さんの待ち時間調査」結果について

副院長                    風間   泰蔵  
 看護師長                三輪   恵里  
 情報管理室主事        川部   泰臣                    沖崎   伸介

当院は、「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を理念として、みなさまにご満足いただける医療を目指して日々診療にあたっています。

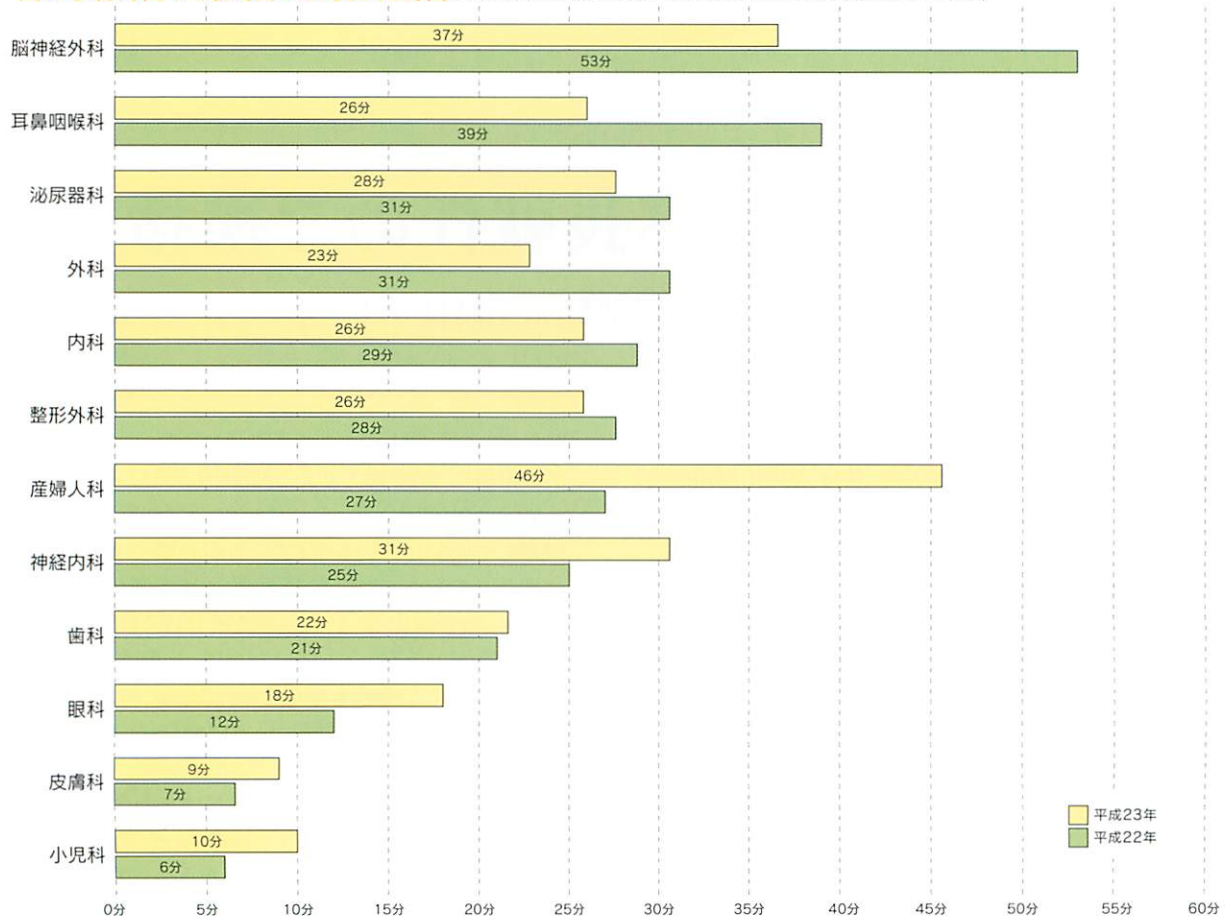
このたび、平成23年6月13日(月)より17日(金)までの5日間にわたり、平成23年度の外来通院患者さんの待ち時間調査を行いました。ここで、その結果の概要をご報告させていただきます。

## 1.調査患者数

6月13日から17日までの5日間の延べ患者数は、初診206名(平成22年315名)、再診 1,885名(平成22年2,048名)の合計2,091名(平成22年2,397名)で平成22年調査時と比べると約300名少ない人数でした。

## 2.ひとつの科だけにかかっておられる患者さんが再診された場合の予約時間から診察までに要した時間

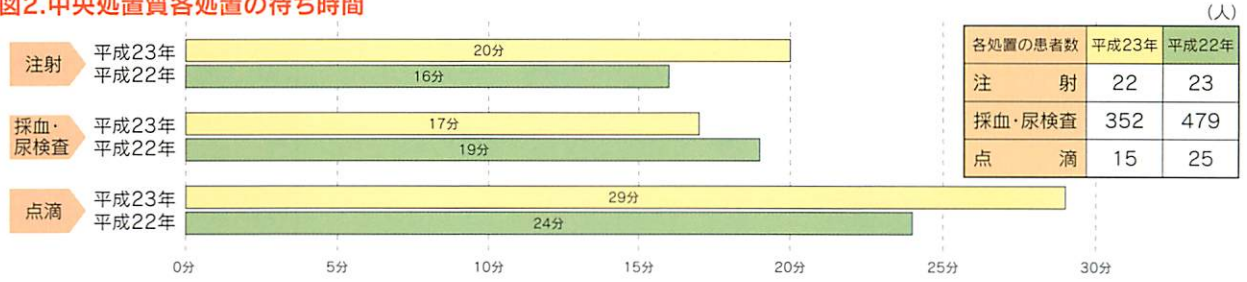
図1.予約時間から診察までに要した時間(予約時間帯以前に、再診・単科のみ受診された患者さんについて)



平成22年度と比較すると待ち時間の短縮がみられた診療科は、脳神経外科マイナス16分、耳鼻咽喉科マイナス13分、外科マイナス8分、内科と泌尿器科がマイナス3分、整形外科マイナス2分でした。逆に産婦人科や神経内科などは、時間が延長しています。ですが、全診療科を平均すると7分間の時間短縮となりました。

### 3.中央処置室各処置の待ち時間

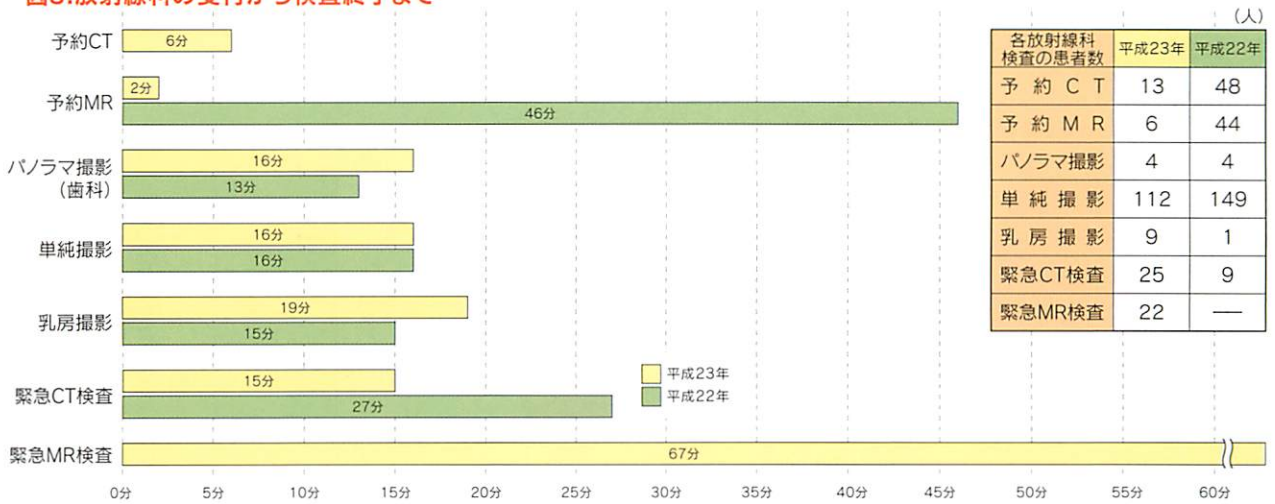
図2.中央処置室各処置の待ち時間



採血の待ち時間に関しては、平成22年と比較すると2分の時間短縮がみられましたが、注射は4分、点滴注射は5分の待ち時間の延長がみられました。

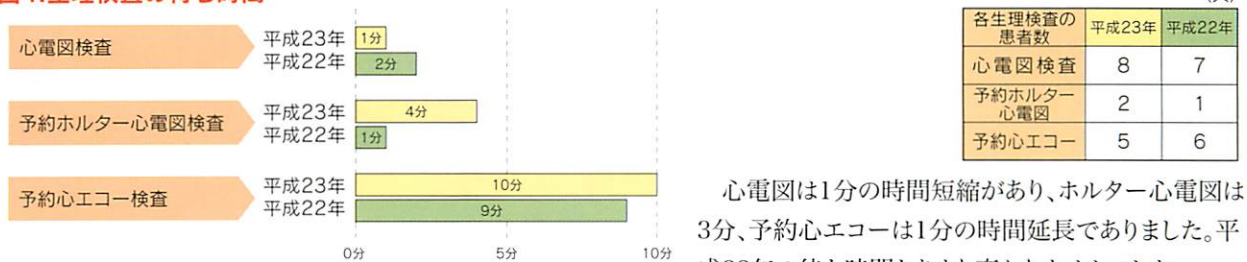
### 4.各種検査の待ち時間

図3.放射線科の受付から検査終了まで



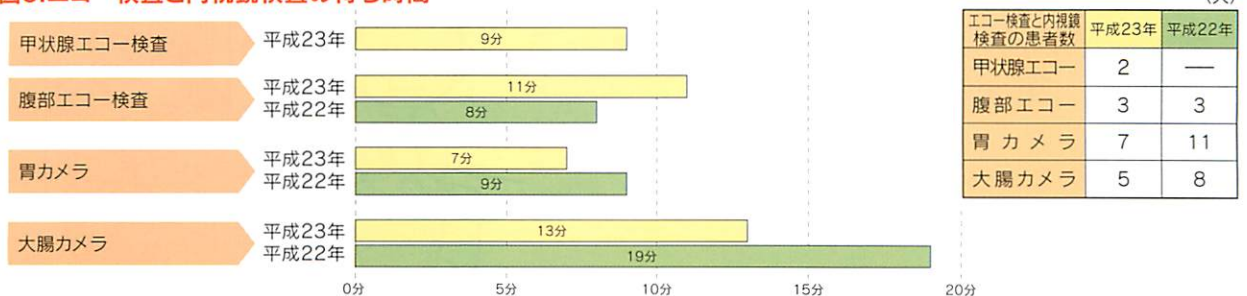
放射線科の予約CTは11分、予約MRIは44分、緊急CTは12分の時間短縮であり、平成22年と比較すると大幅な時間短縮になりました。

図4.生理検査の待ち時間



心電図は1分の時間短縮があり、ホルター心電図は3分、予約心エコーは1分の時間延長でありました。平成22年の待ち時間とあまり変わりませんでした。

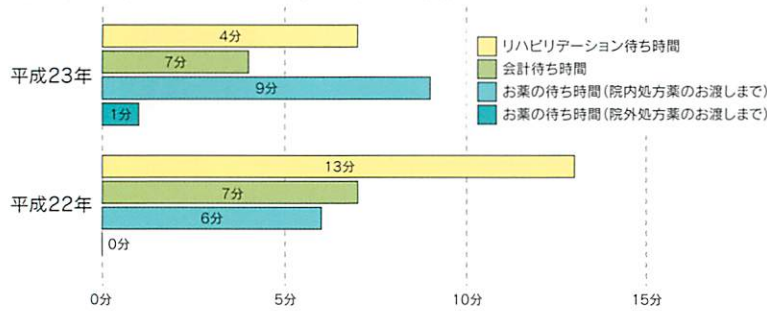
図5.エコー検査と内視鏡検査の待ち時間



エコー検査と内視鏡検査では、平成22年の待ち時間とあまり変わりませんでした。

### 5.その他の待ち時間

図6.リハビリテーション、会計、お薬の患者数



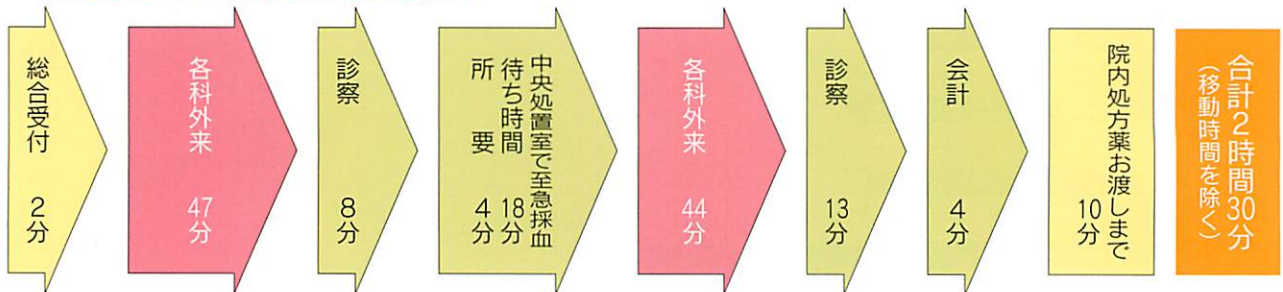
	(人)	
	平成23年	平成22年
リハビリテーション、会計、お薬の患者数		
リハビリテーション	52	34
会計	1,737	2,026
お薬(院内処方)	14	20
お薬(院外処方)	802	1,223

リハビリテーションの待ち時間に関しては、平成22年と比較すると6分の時間短縮がみられました。会計の待ち時間に関しても平成22年と比較して3分の時間短縮がみられました。お薬の待ち時間に関しては、院内処方薬のお渡しまで3分の延長、院外処方箋お渡しまで1分の待ち時間の延長がありました。

### 6.全滞在からみた待ち時間

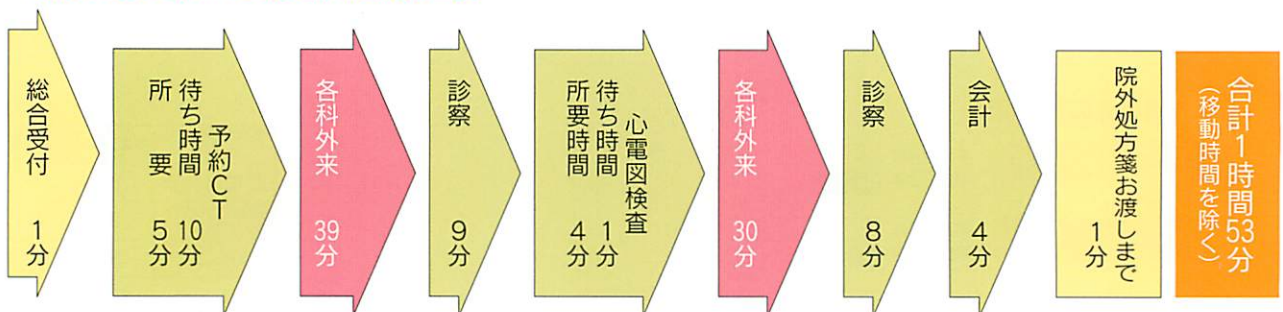
#### まとめ(1)

初診でひとつの科を受診された場合(図7)



#### まとめ(2)

再診でひとつの科を受診された場合(図8)



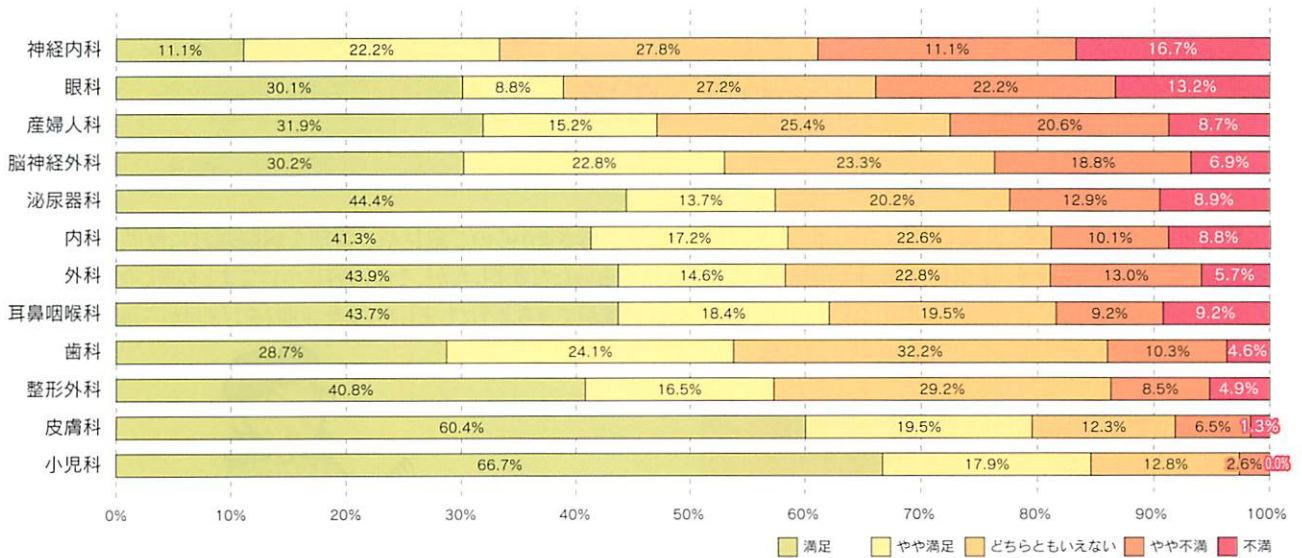
初診でひとつの科を受診された場合の各部署での待ち時間は図7のようになります。全滞在時間2時間30分と平成22年より9分時間短縮されました。

再診でひとつの科を受診された場合の各部署の待ち時間は図8のようになります。全滞在時間は1時間53分と平成22年より4分時間短縮されました。



## 7.待ち時間に対する満足度

図9.待ち時間に対する満足度(各科別)



有効回答数は、合計1,856であり内科が477、次いで整形外科が284、脳神経外科189、皮膚科154、産婦人科138、眼科136、泌尿器科124、外科123、耳鼻咽喉科と歯科が共に87、小児科39、神経内科18の順となりました。回答数100以上の診療科で満足度の百分率をみると満足とやや満足の合計百分率で半分以上の割合を示す診療科は、皮膚科79.9%、内科と外科が共に58.5%、泌尿器科58.1%、整形外科57.3%、脳神経外科53%でした。

反対にやや不満と不満の合計百分率をみると眼科33.8%、産婦人科27.5%、脳神経外科23.8%、泌尿器科21.8%であり残りの科は20%未満でした。

不満の意見としては、「診療までの時間が長い」「検査後の結果説明までの時間が長い」「予約時間より遅れる」などの意見がありました。また、満足の意見のなかには「今日は調査をしているせいか早かったです。いつも待たされることが多いです。」などの意見がありました。

### 【平成23年の結果を踏まえて】

当院での待ち時間調査も平成20年に始まり今回で4回目となりました。全体に待ち時間が減少傾向にあったのは、外来患者数の減少を反映したものかもしれませんが、具体的にいただいたご意見の内容から、調査期間だけの時間短縮への取り組みだけでは、本当の意味での患者さんへの満足につなげることができないことも伺えました。故に、普段からの各病院職員への更なる意識づけが重要になると言えます。

病院理念の「患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供」を目指し、職員全体で日々待ち時間の短縮とスムーズな時間管理に向けて取り組む所存でございます。

本調査中に当院外来を受診された患者さんには、今回の本調査へのご協力を深くお礼申し上げます。今後も定期的に本調査を実施し、より満足していただける病院を目指してまいります。なにとぞご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



# 「患者さんの声」にお答えします

事務部長 高道 秀一

当院では、各病棟や外来に「患者さんの声」ポストを設置し、患者の皆さまからのご意見やご要望を病院運営に反映し、より良い病院になるよう務めています。昨年1年間に147通の貴重なご意見等をいただきましたが、その内容についてまとめました。

なお、平成24年1月からは用紙をA4版に大きくして、たくさんのご記載ができるようにしました。また、回収を月2回から毎週(月曜日)に増やし、より迅速に対応できるよう改善いたしました。

## 1 ご意見、ご要望の内訳 (平成23年3月～平成24年2月)

テーマ	主な内容	合計
待ち時間	受付の改善・待ち時間の短縮などの要望	14
診療	医師の説明、診療技術などの要望	21
設備・サービス	トイレ、駐車場、病衣などの要望	57
給食	食事内容などへの要望	6
職員の接遇など	職員の態度などの改善要望	20
感謝・激励など	当院への感謝、お褒め、激励など	20
その他	病院患者さんのマナーに対する苦情など	9
	合計	147件

- ・意見箱設置場所  
1階ロビー、2階くつろぎ広場及び各病棟のフロアー計7ヵ所
- ・回収期間  
平成23年3月～平成24年2月
- ・今後の措置  
経営管理会議に報告の後、広報誌「済生会富山病院報」及びホームページに意見・要望内容の取りまとめと具体的事例を掲載する。

## 2. 主なご意見、ご要望に対する当院の考え

### (1) 待ち時間について



行先指示、次の段取りなど、とにかく個人プレーなので待ち時間が長い。熱が37.5度あるのに6時間も待たされ、病気を直しに来てるのか悪くしに来てるのかわからない。精神的に苦痛。

待ち時間の長いことに関しては誠に申し訳ございません。現在、何とかこの短縮に向け努力をしている所です。待ち時間中に、具合の悪い方については、別室で休んでいただく、あるいは、順番を早めるなどの対応を取るようになっておりますが、行き届かなかったようで、おわび申し上げます。



### (2) 診療について



「他の病院に替えられたら？」という先生がいた。医者として最低と感じる。精神的苦つうを与えるのが病院なのか？

ご説明が足りなかったかもしれませんが、一般的には、①当院に専門家がないとき、②患者さんの過去のデータなどが他院にあるとき、③当院での加療以上のものが期待できる場合、④治療に限界が感じられるとき、などの場合は、他の病院を薦める場合がありますのでご理解ください。



高齢に伴い一度病院を出て取りに行く事は不便で又他人の介助も(若い人)必要となり困っています。薬局の改良をお願いします。

当院では、質の良い医療サービスを提供するために、厚生労働省が推進する医薬分業の趣旨に添って、外来患者さんを対象に、院外処方せんへ全面移しました。

但し、高度の身体障害(肢体不自由、マヒ等)など患者さんの態様、病例及び医薬品などを適宜、診療科において判断していただきますので、診察時主治医にご相談下さい。

また、高齢者など歩行困難な方や重量的に持ち運びにくいものが処方されている場合など、自宅まで配達してくれる薬局の変更も可能です。あらかじめその薬局に処方内容をFAXしておけば、自宅で受け取ることもできますので、お住まいの近くの保険薬局あるいは当院院外カウンターでご相談ください。





### (3) 設備・サービスについて



パジャマの上衣にポケットがあるとよいと思います。

以前、ポケットに物を入れたまま、クリーニングに出すトラブルが多くあり、ポケットの無いものに変更した経緯がありました。今回、同じような要望が多くありましたので、次回の業者とのリース契約時（平成25年4月）にポケットのあるものに変更する予定で検討しております。



各部屋の洗面所のペーパータオルはムダです。各自タオルを持参すべきです。

病院は、衛生面が要求されるのでペーパータオルを使用しています。



駐車場で、障害者マークをはってなくても、体の不自由な人を乗せていて 障害者用に止める事もあります。ただ、近いから止めた訳ではないのに、違反カードの様なものをはさまれて不愉快です。

障害者の方に利用していただけるよう障害者マークが無い場合には違反カードを挟むことで健常者の利用を排除しています。

体の不自由な方が乗車されている場合、マークが無い場合は駐車整理員等に申し出るようにしてください。



自分の番号がいつ表示されるのか、常に掲示板を見ている必要があるので、新しく番号表示される時にチャイム等で知らせてもらえれば助かります。

当院の様に各科が一行に並んでいる病院では、どの科でチャイムが鳴ったのか分かりづらいとの問題があり、導入しなかった経緯があります。患者さん側に見れば、あちこちで、チャイムが鳴る状況は、混乱や間違いの発生が考えられ、当院の外来では難しいと判断します。



### (4) 給食について



病院の食事ですが、ご飯が少しかたいと思います。おみそしるはとてもおいしいです。

やわらかめのご飯を望まれる方もおられますので、当院は普通のかたさのご飯と別にやわらかめの軟飯も用意しております。お食事を選ばれる時、軟飯を選択する事もできますので、患者さんのお声が反映できる様に病棟との連絡も密にしたいと思っています。



### (5) 職員の接遇などについて



ナースステーションでの私事の会話がが多く、笑い声が多い(不謹慎)。もっと緊張感がいるのでは!

不愉快な思いをおかけし申し訳ありませんでした。今後、充分注意いたします。



### (6) その他



病室でパソコンを使って仕事をしている人がいるが、音がうるさくて安静にできない。

入院生活は共同生活でもあります。他の患者さんに迷惑がかかるような行為には、注意するなど療養環境を守るよう十分配慮してまいります。



医療費減額申請の件では、相談室の方にもお世話になりました。しかし、生活保護世帯、ホームレスの方以外にも経済的に苦しく、病院にかかれなため、状態が悪化して大変な思いをされている方がまだまだ多くいらっしゃることをご配慮頂き、この無料低額制度が幅広い範囲で困っていらっしゃる患者さんやそのご家族の方の状況を考慮いただき、その方々に見合った形で支援をして下さるようお願い致します。

様々な理由で、経済的に困窮し、医療を受けることができない状態にある患者さんに対して、無料低額診療事業を利用して頂けるよう、相談会（月1回）の開催や関係機関へアピールを行う等、事業の周知に取り組んでいます。

また、収入や預貯金がある等の理由で、無料低額診療事業の対象とならない患者さんに対しても、他の制度を紹介したり、分割払いの対応や目途が立つまで支払を猶予するなど様々な形で、負担軽減できるよう個別の相談、支援を行っております。



# 放射線技術科 認定資格合格の声



松井 幹夫

## X線CT認定技師

第1回X線CT認定技師試験に合格しました。近年X線CT装置の進歩は著しく、短時間で全身検査を容易にしたばかりではなく、心臓や消化管など以前は困難であった部位も検査が可能となり、現代の医療にとって必要不可欠の検査となっています。しかし、現状ではCTの検査方法は施設によってばらつきがあり、必ずしも根拠に基づく検査方法が行われているとはいえません。この問題を改善するためには、X線CT装置の進歩に伴う複雑化した技術への対応や被ばく線量の管理などの専門性・安全性の担保が必要となってきます。そこで認定制度が発足しました。標準医療に基づいた画像情報を提供し、専門的でより質の高い検査技術の実践が可能となり、安全で安心な検査を提供出来るものと思っています。当院放射線技術科には5人の認定技師がいます。認定技師が先頭に立ち、実践・指導を行い、スタッフ全員が標準医療に基づいた質の高い医療を提供出来るよう日々励んでいますので、これからもよろしくお願ひ致します。



石崎宗一郎

## 血管造影インターベンション専門診療放射線技師

3年前に認定試験に合格し、専門技師を取得しました。当院では年間約750件の血管造影（脳・心臓・内臓・四肢血管等）検査や、インターベンションと呼ばれるこれらの血管を内側から治療する血管内手術が行われています。最先端の血管造影装置を導入している当院では、高度で繊細な治療手技も行われています。そのため、積極的に関連する全国学会に参加したり演題発表を行い、情報取取にも力を入れています。これらの専門知識や技術を活かし患者さんにとってより安全に、より効果的な治療結果が得られるよう、診療放射線技師の立場からサポートさせて頂いております。また放射線を用いる手技であるために、医療被ばくの低減策にも取り組んでいます。



藤本 勝明

## 磁気共鳴専門技術者

磁気共鳴専門技術者とは、MRI検査を施行する上で必要な一定以上の臨床的・機械的な知識を有していると認められた者に与えられる認定資格です。現在、全国には300名以上の認定者がいますが、富山県では私を含めた2人の診療放射線技師がこの認定資格を取得しております。認定者の役割として、自施設のMRI装置の精度管理や患者さんやスタッフの安全管理、地域活性化のための教育・指導などが上げられます。当院では、私を中心としたMRI検査担当技師が日々の業務において常に患者さん一人ひとりにベストなMRI検査を受けていただけるように、お互いに知識や情報の共有を行い、依頼医・診断医とも連携を密にとり検査を行っています。



野崎 春奈

## 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

近年女性技師が増加していると言われてはいますが、それでもなお放射線技師は男性が圧倒的に多い職種です。その中で、女性技師として検診マンモグラフィ撮影認定技師の資格は絶対に取得したい資格でした。現在、我が国の乳がん検診の受診率は24%と少なく、その半面乳がんの罹患率は増加しています。女性特有の病気を（稀に男性もいますが）同性の技師として、その不安や痛みを理解し、患者さんに安心して検査を受けていただけたらという思いで資格を取得しました。認定技師としての知識と技術を生かし、乳がんの早期発見に努めたいと思います。女性のみなさん、勇気を出して検診を受けるその一歩を踏み出してみませんか？



高村 麻美

## 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会主催の講習を受け、検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師となって2年がたちました。現在、富山県では約98名の検診マンモグラフィ撮影認定技師が活躍しています。私たちの主な仕事は診断しやすい画像を撮影することですが、撮影機器の管理、撮影した画像の読影も行っています。特に読影に関しては、写真の特性や乳腺疾患に関する知識を踏まえ、しっかり画像を理解することで患者さんの病気の早期発見につながると考えています。“マンモグラフィは痛い”というイメージが先行しがちですが、患者さんが安心して検査を受けられるような接遇、より質の高い検査を目指して、日々努力していきたいです。

# 今年4月より看護師ユニホームが変わりました！！

看護師長 堀田 裕子

今回、看護師ユニホームのリニューアルに伴い、看護師全員に好みのデザインのユニホームを選んでもらうために若者の看護師がモデルとなり、ファッションショーを開催しました。それぞれ自分が着たいユニホームに投票をして、このタイプが選ばれました。

今まではグレーが主体で落ち着いた印象のユニホームでしたが、今回は基本の白に紺色のラインが襟元、袖口に入り、済生会病院の象徴であるなでこの刺繍を襟に入れました。

久しぶりに白色のユニホームを着ることで背筋をピンと伸ばしたくなる良い緊張感を感じています。

また看護助手は、桃色から水色のユニホームに変わり、暖かく、やさしいイメージを強調しました。

昨年度、看護部では「笑顔の素敵な看護師さん」コンテストを行い、上位5位までの看護師を表彰するという活動を行い、疲れていても笑顔を心がけ、豪華賞品を狙って盛り上がりました。

これからも明るくさわやかな印象のユニホームに負けないくらいの笑顔を絶やさずに、患者さんに寄り添い、質の高い看護を提供してまいります。



●女性看護師



●男性看護師  
(スタンドカラー)



●看護助手

## 私達の 職場

## リハビリテーション科

リハビリテーション科主任 山本 晃彦

リハビリテーション（以下リハビリ）科は堀江部長（副院長兼務）を長として、脳神経外科・整形外科・内科の専任医師を各2名ずつ。スタッフは理学療法士13名、作業療法士7名、言語聴覚士3名と事務員1名で構成されています。スタッフ同士20～30歳代中心で年が近いこともあり、お互いが助け合い、すぐにいろいろな意見や相談することができます。リハビリの社会的使命として疾病や外傷などにより、身体的あるいは精神的な障害を呈している方に対して、身体・精神機能の向上はもとより、残された能力を最大限に発揮するだけでなく、新たな能力を開発することです。そのためには、生活・社会への復帰と質の向上を目的に手助けを行い、患者家族と一緒に患者さんの生活や社会復帰を考えることとなります。

リハビリの理学療法は立つ・歩くなどの基本動作訓練や物理療法を、作業療法は日常生活の動作訓練を、言語聴覚療法はコミュニケーション障害や飲み込みの障害に対してアプローチを行っています。最近では、脳卒中リハビリ認定看護師と協働して病棟リハビリにも力をいれるようにしています。さらに、他職種と連携・協働によるチームアプローチを積極的に行い、より患者さんの近くで、身体的だけではなく、心理的・社会的・全人的なサ

ポートを行うようにしています。

当院は急性期病院であるため、発症救命直後から早期社会復帰を考え、リスク管理の下に早期離床、セルフケアの拡大を促しています。最近では、急性期から回復期へのリハビリの途切れがない転院だけでなく、当院から自宅に退院する方に対しても安心して自宅退院していただくために、退院前・後訪問をして住宅改修などを行い、外来通院でフォローアップを行うこともあります。これからは患者さんが障害を克服し豊かな生活に戻れることを目標に、患者本位の心温まるリハビリを提供できるようにスタッフ一丸となって頑張っていきます。



NEW FACE PROFILE



新人自己紹介



①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等

医局



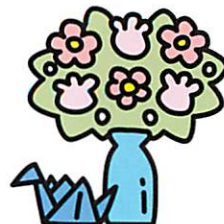
ホリ リョウタ  
①堀 亮太  
②外科医長  
③清水町小、大泉中、富山高  
校、富山医科薬科大学と富  
山で学び成長してきました。  
地域に貢献できるよう精進  
します。



イノ マツメヒコ  
①猪又峰彦  
②内科副医長  
③このたび済生会富山病院に  
呼吸器内科の常勤医として  
赴任することになりました  
猪又と申します。よろしくお  
願い申し上げます。



ニシミズ シュン  
①西水俊准  
②内科医員  
③消化器内科医師として研鑽  
を積み、病院や職員の方々、  
ひいては地域の医療に貢献  
できるよう努力いたします。



看護部



フル カワ シズカ  
①古川 静  
②看護師(5階病棟)  
③再就業支援研修を経て就職  
しました。不安はありますが、  
一歩ずつ進んでいきたい  
と思っています。よろしくお  
願いします。



イワ タ マ ヤ コ  
①岩田真矢子  
②助産師(5階病棟)  
③患者さんやその御家族に満  
足して頂けるケアを提供で  
けるように、一つ一つ学んで  
いこうと思っています。よろ  
しく願いいたします。



サ サ キ ナ  
①佐々木奏  
②看護師(3階病棟)  
③高校時代はチャアリーディ  
ング部に所属していたので、  
体力には自信があります。先  
輩方のような看護師になれ  
るよう頑張ります。



ニシカワ リサ  
①西川璃沙  
②看護師(3階病棟)  
③患者さんの気持ちに寄り  
添って手助けができるよう  
な看護師になれるよう一生  
懸命頑張りたいです。よろ  
しく願いします。



ハヤシ ヒトミ  
①林 仁美  
②看護師(3階病棟)  
③看護の知識、技術を磨き1つ  
ひとつの看護行為に責任を  
持ち確実に看護を実施でき  
るよう一生懸命頑張ります。



ナカ シマ ア ヤ カ  
①中島彩華  
②看護師(4階病棟)  
③札幌から引っ越してきました。  
新しい土地、新しい職場  
で緊張していますが、精一杯  
学びたいと思います。よろ  
しく願いします。



ミヤ マ チ ユ ミ  
①宮間智弓  
②看護師(4階病棟)  
③どんな時も笑顔を忘れず患  
者さんと心を通わせ、思いや  
りの心をもって看護師にな  
れるよう、日々努力します。



オカ ジ マ エ マ  
①岡嶋絵麻  
②看護師(4階病棟)  
③立山町出身です。社会人とな  
りとても緊張していますが、  
笑顔を忘れず頑張ってい  
きたいと思っています。どうぞ  
よろしくお願い致します。



コバヤシ ユ キ  
①小林由紀  
②看護師(4階病棟)  
③患者さんの気持ちに寄り添  
い、毎日笑顔を絶やさず精  
一杯頑張ります。よろしく  
お願い致します。



イワキ アユミ  
①岩城あゆ美  
②看護師(4階病棟)  
③社会人としての責任感を常にもち、いちはやく看護師としての仕事を覚えられるよう1日1日精一杯頑張りたいです。



ウラ カミ シオリ  
①浦上 栞  
②看護師(4階病棟)  
③持ち前の明るさで患者さんに笑顔が届けられるような看護師になれるように頑張っていきたいと思っています。



カナ ガフ ヒトミ  
①金川 瞳  
②看護師(5階病棟)  
③人の生命に関わる自覚と責任感を常に持ち、毎日笑顔で患者さん、ご家族と接し成長できる看護師を目指しています。



フジ タ ア ヤ ネ  
①藤田愛也音  
②看護師(5階病棟)  
③いつも笑顔を忘れず患者さんに信頼してもらえるような看護師になれるよう頑張るのでよろしくお祈りします。



クリハラ ヤエ子  
①栗原八重子  
②看護師(6階病棟)  
③笑顔を絶やさずに思いやりを持って日々頑張りたいと思います。未熟ですが、よろしくお祈りします。



イシ ダ チ カ  
①石田千華  
②看護師(6階病棟)  
③患者さんやスタッフの皆さんから信頼される看護師を目指して何事にも真摯に取り組んでいきたいと思っています。



ヨシ ダ ケンイチロウ  
①吉田憲一郎  
②看護師(6階病棟)  
③1日でも早く職場の環境に慣れ、基本に忠実な看護が日常的にできるように頑張りたいです。



カト ユリコ  
①加藤幸代  
②看護師(7階病棟)  
③私は以前名古屋の病院に勤めていました。そこで学んだことを活かして頑張りたいと思います。



タニ ホ ナ ミ  
①谷歩奈美  
②看護師(7階病棟)  
③看護師として胸を張って学生時代の友人達と再会するのが今一番の目標です。よろしくお祈り致します。



エチ ゼンアヤ カ  
①越前綾華  
②看護師(7階病棟)  
③夢だった看護師になり、新たな目標に向かって元気に明るく頑張りたいです。よろしくお祈りします。



イス ルギユウ コ  
①石動優子  
②看護師(7階病棟)  
③念願の看護師!常に患者さんの立場に立って看護し、笑顔と感謝を忘れずに、患者さんから信頼される看護師になりたいです。



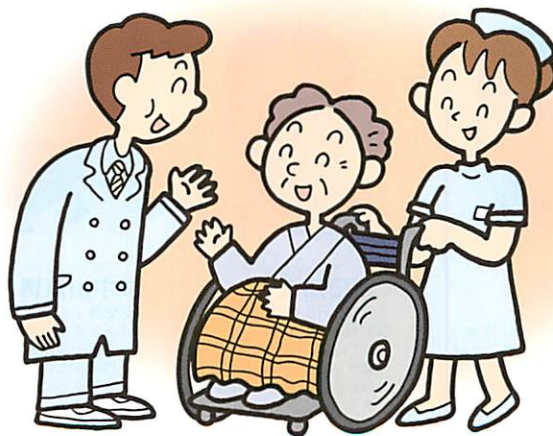
イ モト ヒ ナ  
①井本妃南  
②看護師(7階病棟)  
③看護師という職は、厳しいものだと思いますが、精一杯頑張っていきたいです。よろしくお祈りします。



サワ ダ アカ  
①澤田 彩  
②看護師(7階病棟)  
③子供の頃から憧れていた看護師になることができたので一生懸命頑張ります。これからよろしくお祈りします。



エンドウ チ ヨ  
①遠藤知代  
②看護師(7階病棟)  
③初心を忘れず頑張ります。よろしくお祈りします。



# 医療技術員




テラ ダミホ  
①寺田美穂  
②薬剤師  
③1日も早く、病院のシステムに慣れ、患者様の目線から物事を考えられる薬剤師になりたいと思っています。



マエ タナト  
①前多尚人  
②診療放射線技師  
③高度な技術、専門知識を学ぶだけでなく、学会や勉強会への参加など、豊かな経験を積んでいきたいです。



ミズ ノチエミ  
①水野智恵美  
②臨床検査技師  
③まだわからないことが多いですが、元氣と笑顔を忘れず頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



ホリ ウチアサノ  
①堀内綾乃  
②臨床検査技師  
③常に患者さんへの思いやりの心を忘れず、勉学に励み、立派な技師になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。



コ ナカリョウスケ  
①小中亮介  
②理学療法士  
③長所は、何事も明るく前向きに取り組むことです。患者さまの気持ちができる親切で頼りがいのある職員を目指します。



トオ ダケンシン  
①遠田謙信  
②理学療法士  
③はじめて、本年度から理学療法士として働くことになりました。遠田謙信です。患者さんの立場に立ったりハビリを提供していきたいです。



コ タマユリエ  
①小玉百合恵  
②理学療法士  
③社会人としての自覚と責任感を持ち、患者さんに最善を尽くせるよう日々努力していきたいと思っています。



ミツイフユコ  
①三井普祐子  
②理学療法士  
③患者さんに笑顔で接するように心掛けています。慣れない事が多く不安ではありますが一生懸命頑張るので、よろしくお願いします。



ササキナナミ  
①笹木菜奈未  
②言語聴覚士  
③新潟の大学を卒業し、4年ぶりに富山に帰ってきました。先輩に近づけるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



イシハシカスミ  
①石橋香澄  
②言語聴覚士  
③常に向上心をもって、日々努力していきたいと思っています。ご迷惑をおかけすると思いますが宜しくお願いします。



ヤマギシアサコ  
①山岸絢子  
②管理栄養士  
③昨年は黒部市民病院に勤めておりました。笑顔忘れず患者さんに信頼される管理栄養士を目指して頑張ります。



# 事務部




シマ サクヒデアキ  
①嶋作英之  
②医事課主事  
③以前はプログラマーをやっていた。覚えることは多々あると思いますが、がんばります。よろしくお願いします。



ニシ タトモヒロ  
①西田知大  
②医療ソーシャルワーカー  
③前職はケアマネージャーをしていました。仕事を学び一員として力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



ナカヤマノブヒロ  
①中山信博  
②医療ソーシャルワーカー  
③まだまだ不慣れですが皆様安心して医療を受けて頂けるように努めていきますのでよろしくお願い致します。



タケウチ マスミ  
①竹内真澄  
②医療ソーシャルワーカー  
③新潟市から来ました、竹内です。分からないことばかりですが、1日でも早く富山に慣れるよう、一生懸命頑張ります。

# 済生会富山病院では 無料・低額診療事業を 実施しています

**無料・低額診療事業**とは、医療費を

**減額 免除**

できる制度です。

生計困難な方が経済的理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。



**例えば** このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

### 利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、まずは医療福祉相談室へご相談ください。お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

### 相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)  
TEL 076-437-1111(代)  
月～金 9:00～17:00



**毎月第2火曜日に無料・低額診療  
相談会を実施しています**

場 所: 医療福祉相談室 時 間: 9:00～12:00

**相談は  
無料です**



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 富山県済生会 富山県済生会富山病院

## 理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

### 基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

### 患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるように以下の権利を尊重します。

#### 1 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

#### 2 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

#### 3 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。

#### 4 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

#### 5 プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。



患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ・ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えて下さい。
- ・診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えて下さい。
- ・他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



#### 済生会富山病院報

発行者  
富山県済生会富山病院  
院長 三崎 拓郎

#### 【編集委員会】

井内 和幸	加藤 智代	久保 道也
坂田 亜由美	佐々木 正詞	嶋作 英之
清水 快	下司 洋臣	関岡 綾子
西川 和良	野崎 春奈	堀田 裕
松倉 裕喜	南 沢 宏	

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL(076)437-1111(代)FAX(076)437-1122  
ホームページアドレス <http://www.saiseikai-toyama.jp/>  
メールアドレス [hospital@saiseikai-toyama.jp](mailto:hospital@saiseikai-toyama.jp)